

## フィンドレー大学への協定留学 月例報告書 (12月分)

静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科 3年 桑原大樹

12月に入り、冬休みが始まった。まさに絶望であった。なぜなら、大変に退屈だからである。この先1か月、すべてのアメリカ人は実家へ帰る。帰らない人もいるのでは、と思われるかもしれないが、例外はない。帰省できる実家を持つ学生は、冬休み中キャンパス内の寮に滞在することは許されていないのだ。従って大学の敷地内には留学生のみが残るわけだが、そのほとんども旅行に行ってしまう。しかし私は10月にカリフォルニアで散財しているので、そんなお金はない。1か月間の、孤独との戦いが始まった。

まず食事について話すと、これが本当にひどかった。大学の食堂は閉まっているので自炊せざるを得ないのだが、スーパーまで徒歩40分近くかかること、野菜売り場が汚すぎてとても買う気にならないこと等あって、結局毎日、米ばかり食べていた。アジアマーケットで米と醤油と納豆を大量に買い込んできて、毎日米を2合食べる。1合は醤油で、もう1合は納豆でいただく。カリフォルニア産コシヒカリ(?)である。寝る前にプロテインを1杯とビタミン剤を2錠飲んだら、1日の食事は終わりである。問題なのは、私自身がこれを、アメリカの普通の食事よりマシだと思えていることだ。一度海外に出てみると分かるのだ。醤油のポテンシャルは、ヤバい。

生活で言うと、冬休みの前半は毎日YouTubeでゲーム配信をしていた。ポケットモンスター最新作の英語版パッケージを購入してきて、英語で遊んでみた。初見のゲームを英語で遊ぶのは初めてのことで中々に苦労したが、4か月かけて培った英語力と15年かけて培ったポケモン力があれば、クリアなど造作もないことだ。ストーリーは7割くらいしか理解できなかったが、驚くほど楽しかった。ペパー先輩大好き。ネモさんはちょっと怖いね。ポタンちゃんは…みんな分かるよね。

配信は日本の友人向けにやっていたので、毎日、日本時間の22時に開始していた。このためにはアメリカの時間で朝7時半には起きなければならない。冬休みだというのに毎日7時半に起きる大学生。大学生の生活習慣を得点に換算して偏差値を取ったら、間違いなく70を超えるだろう。配信が終わった後は、ツイッターのグループ通話機能を使って日本の友人とお喋りしていた。毎日だ。アメリカで午後になると日本の皆様は深夜を向かえる。「あと10分したら寝ます」と言いながら毎日朝まで通話できる無限の体力をお持ちの後輩たちと通話していると、アメリカが夕方を迎えるのは早かった。朝になると流石に皆様お眠りになるので、そこからは英語の勉強だ。先月の月



例報告書に書いたこと同様、映画のセリフを真似して、新しい単語と表現を覚え、発音を練習する。12時になったら寝て、翌朝はまたポケモン配信。こんな生活を2週間ほど送ったころ、人生最悪のクリスマスが訪れた。

クリスマスが直前に差し迫り、阿鼻叫喚に埋もれるツイッターのタイムラインを見ていた12月23日。そのときアメリカには歴史的な大寒波が直撃していて、外気温は最低時で $-20^{\circ}\text{C}$ 、風速は、具体的には覚えてないが浜松の風が強い日くらいあった。自室は密閉性がないかつ暖房がガスなので、どんなに頑張っても室温は $3^{\circ}\text{C}$ 程度。流石に寝られないのでリビングに移動し、ソファで寝ることにした。「風速冷却注意報」という、日本では聞かない注意報が発令され、低気温に強風のコンボで水道が完全に凍結し、水が出なくなった。トイレは歩いて5分かかる大学の施設にしに行く羽目になり、シャワーは我慢して、ペットボトルの水で皿を洗い歯を磨き、2日が経ちクリスマスになる頃にはすでに満身創痍であった。以下、当時の私のツイート、いやツイートである。

『一旦状況を整理しよう。水道が使えないことについて、シャワーが浴びれないのは最悪我慢できる。トイレが使えないのは、近くの友達の家トイレは動くらしいのでなんとかなる。食器を洗えないのが困った。これは飲み水を使って洗うことでなんとかしよう。問題は電気が止まってしまう可能性があることだ。Kevinによれば、経験から言って可能性は50%ほどらしい。そうなった場合、俺の家の暖房は完全にストップする。コートを着て毛布をぐるぐるに巻いても、 $-20^{\circ}\text{C}$ の環境で夜を明かすのは危険極まりない。近くに友人の家や大学の施設はあるが、電気に関しては我が家が止まったならどこでも同じ話だ。少し歩くことになるが、また別の友人の家に地下室があったはずだ。そこで過ごせばなんとかなるかもしれない。スマホやモバイルバッテリーは満タンまで充電しておこう。』

冷静になるためにこういった口調で呟いたのだが、先輩に「バイオハザードの感染者の日記みたい」と言われてしまった。一度言われてしまうともうそうとしか思えない。こいつはこの後、確実に死ぬ。

こうして、23回目にして最悪のクリスマスを過ごす羽目になったのである。ただでさえ扱いづらいアメリカの水道設備が動かなくなり、電気が止まる可能性もあると言われ、それでもツイッターではクリスマスに浮かれた輩がワイワイやっている。恋人がいないと泣き喚く者もいたが、友達で集まってクリスマスパーティーをしている時点で私より全然マシだ。彼氏を好きすぎる幸せな後輩がツイートするのを眺めていて耐えられなくなり、ソファで東京03を見て気を紛らわしていた。蓄積—————！！！！

ただ、クリスマス以降は割と楽しい冬休みを過ごせた。どうしてもシャワーが浴びたくなり日本人の友人の家に行くと、寒波で帰国のフライトがキャンセルになった日本人が2人キャンパスに戻ってきたので、そこから毎日5人でだらだら YouTube を観たり、歩いて買い物に行ったり料理をしたりして、のんびりと年末を過ごした。帰国勢が帰ってからも、友人と毎日モンハンをしていた。下位のタマミツネも倒せなかった友人がガイアデルムを倒す頃にはもう冬休みは終わりかけていて、そして今、休みゆえに逆に忘れていた月例報告書をしたためている。



来年留学する後輩たちへ、フィンドレー大学に留学するなら、冬休みはやはり旅行に行くべきだと思う。旅行に行った人のレポートも同じウェブサイトから見られるはずなので、ぜひ参考にさせていただきたい。

今日から、大学の後期の授業が始まった。冬休みも考えると、留学の半分がとっくに終わってしまっている。先月の報告書に書いたように、またいつもの日常がずっと続くのか、目新しい何かが起こるのか、それは分からないし、どっちになって欲しいとも思っていないが、最大限楽しんで、充実させていきたいと思う。